

| | | | | |
|-------------------|--|-----------|----------------------------|---------------------|
| 科目名 | 法律入門 I | 科目分類 | ■ 専門科目群 □ 総合科目群 | |
| | | | 経済学部 | □ 必修 ■ 選択 |
| 英文表記 | Law for beginners | 開講年次 | □ 1年 ■ 2年 □ 3年 □ 4年 | |
| | | | 開講期間 | □ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中 |
| ふりがな | くにい のりお | 実務家教員担当科目 | 修得単位 | 2単位 |
| 担当者名 | 國井 法夫 | 実施方法 | ■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用 | |
| 授業のテーマ | 法律の基礎知識を学ぶとともに日常生活における基本的なルールを学びます。 | | | |
| 到達目標 | 日常生活を送るなかで何となく守っているルールを再確認する。 | | | |
| 授業概要 | 法律の基礎知識、日常生活を送るうえで必要なルールを話します。 | | | |
| 授業計画 | | | | |
| 第1回 | 法律の基礎知識1)(法の役割・法の種類・法の形式的効力・法の適用と解釈)について | | | |
| 第2回 | 法律の基礎知識2)(条文の読み方)について | | | |
| 第3回 | 日々の生活における身近なルール (1.民法はどのような法なのか 2.民法の基本原則について) | | | |
| 第4回 | 3.契約が有効であるには | | | |
| 第5回 | 4.民法はどのような契約を認めているか | | | |
| 第6回 | 5.成年と行為能力について | | | |
| 第7回 | 6.自分で決めたことを誤りなく相手に伝える | | | |
| 第8回 | 7.契約内容が適切であること | | | |
| 第9回 | 8.代理人による契約について | | | |
| 第10回 | 9.法人(会社)とは | | | |
| 第11回 | 10.期間の計算方法について | | | |
| 第12回 | 11.売買契約について | | | |
| 第13回 | 12.建物の賃貸借契約と売買契約の違いについて | | | |
| 第14回 | 13.金銭貸借における利息は? | | | |
| 第15回 | 14.借金のある者は自分の財産を自由に処分できるのか? | | | |
| 第16回 | 定期試験 | | | |
| 授業時間外の学習 | 納得できないところは自分でまず調べてみる。 | | | |
| 履修条件 受講のルール | 真面目に授業が受けられる学生を求めます。 | | | |
| テキスト | ポータルサイトに掲載されているプリントにより授業を実施します。 | | | |
| 参考文献・資料 | 石田喜久夫著『民法の常識』(有斐閣)・宮川貴著『法学入門』(ミネルバ書房)・行政書士過去問題集等 | | | |
| 成績評価の方法 | 試験の得点(80%)・学習態度(20%)等で総合評価します。 | | | |
| オフィスアワー | 授業終了後 | | | |
| 成績評価基準 | 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) | | | |
| 実務経験及び実務を活かした授業内容 | | | | |

学生への
メッセージ

真面目な授業態度・欠席しない学生を希望します。頭髪等ルール違反の学生は指導します。